

## コルリ



初めての出会いでした。喜寿を過ぎて2年にもなりましたが、マニヤではないが自称かなりの鳥おたくにしてもやっとの出会いなのであります。2009年6月17日14時頃、場所はわれわれの主活動地の澄川の森でした。この時期小鳥達は子育てをしていて、巣に近づく者を厳しくマークいたします。そして巣の中の雛や伴侶に警戒事態を報せる特別な通信声を発声します。その異常な声が聞こえてきましたので急いでカメラを持って近づきました。そしてゲットした映像です。普段ではさっさと姿を隠すのですが、家族を守る使命感の高いけなげな父親は私の接近をマークして逃げ去らないのです。シャッターチャンスは楽々でして数枚の映像がありますが、悲しいかなカメラ任せのバカチョンデジカメなのでピントが甘々でした。それでもコルリと判別可能なので満足であります。

名称のコルリはオオルリに対してのものでしょうが、大きさはオオルリより気持ち小さい程度なのです。同じスズメ目で色づかいは似ていますが、オオルリはヒタキ科、コルリはツグミ科でシルエットはオオルリが縦型にコルリは横型なので、紛れはないように思います。営巣は地上とのことで私は確認したことはもちろんありません。分布は全国区ですが、声はすれども姿は見えぬの類でして、滅多なことではお目にかかれないのであります。中国南部や東南アジアで越冬する渡り鳥とのことです。

ここ澄川札幌市市有林は三度目の拡張となりました。2002年当協会の発足時から手入れをしています。これで私の年齢からすれば、死ぬまで関わらせていただける面積となりました。札幌近郊の典型的な里山で鳥や虫の状況からしても自然豊かな森林なので四季折々楽しむことができます。野の花好きにとっては興味が尽きません。この日アヤメが咲いていました。一般市民や学童・児童達にも親しんでいただきたいので、整備に力が入ります。除伐材でのシイタケ栽培も2年前に植菌した分が今年は豊作でした。

